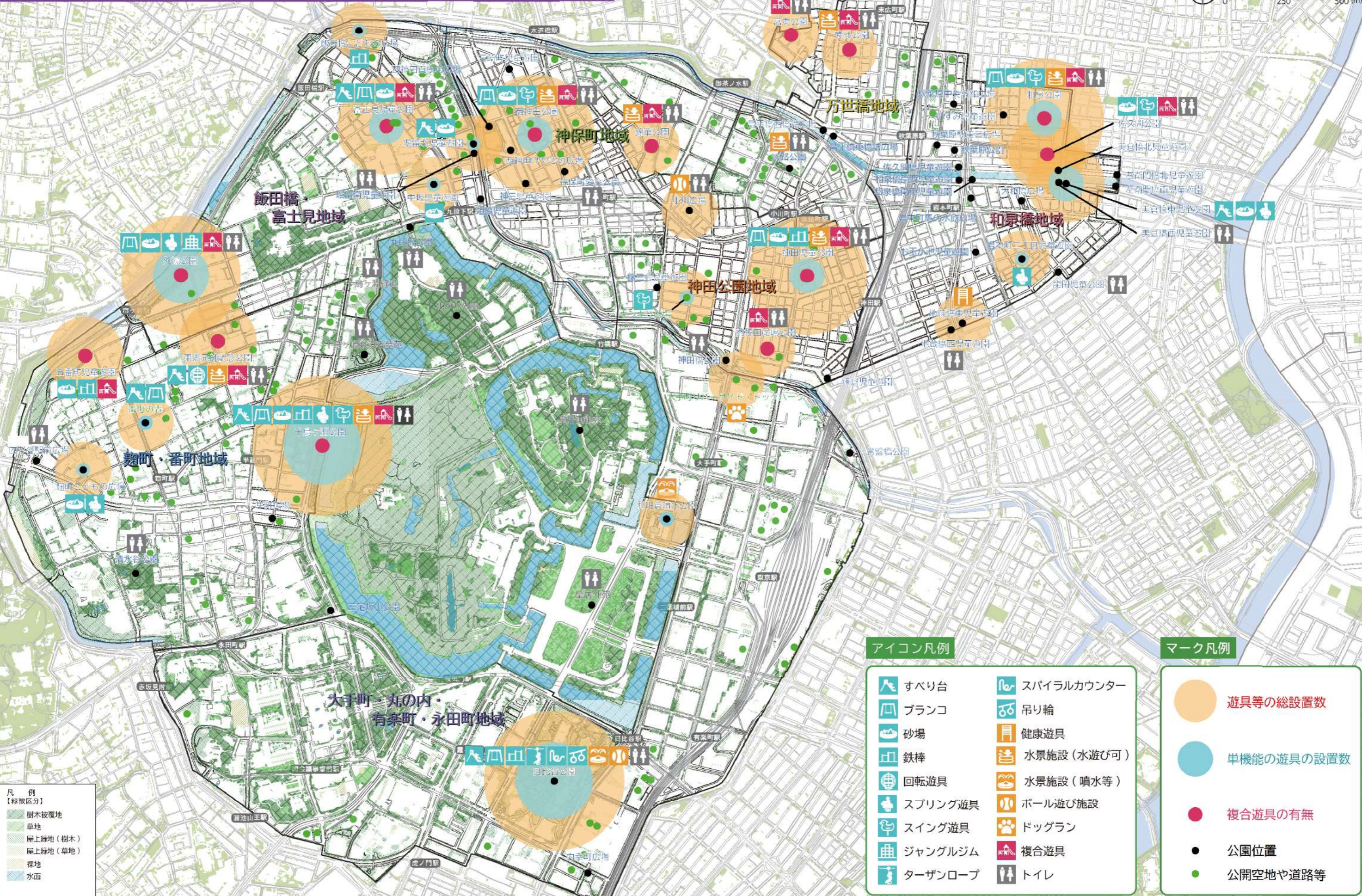


千代田区内公園及び公開空地等 できることマップ 令和5年10月 時点

Scale 1/15,000
0 250 500(m)



凡例
【緑被区分】

- 樹木被覆地
- 草地
- 屋上緑地(樹木)
- 屋上緑地(草地)
- 裸地
- 水面

アイコン凡例

すべり台	スパイラルカウンター
ブランコ	吊り輪
砂場	健康遊具
鉄棒	水景施設(水遊び可)
回転遊具	水景施設(噴水等)
スプリング遊具	ボール遊び施設
スイング遊具	ドッグラン
ジャングルジム	複合遊具
ターザンロープ	トイレ

マーク凡例

- 遊具等の総設置数
- 単機能の遊具の設置数
- 複合遊具の有無
- 公園位置
- 公開空地や道路等

千代田区立公園 機能分類マップー覧 令和5年10月時点

Scale 1/15,000
0 250 500(m)



マーク凡例

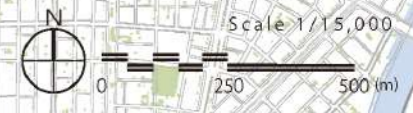
● 歴史的機能	● 1機能
● シンボル機能	● 2機能
● 自然環境機能	● 3機能
● 地域活用機能	● 4機能
● 先駆的機能	● 5機能
● 遊び場機能	● 6機能
● 公開空地	

凡例

【緑被区分】

- 樹木被覆地
- 草地
- 屋上緑地(樹木)
- 屋上緑地(草地)
- 裸地
- 水面

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点



歴史的機能

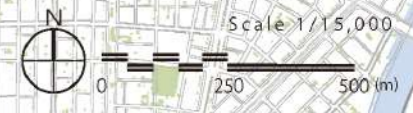


- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

マーク凡例

- 5000m² 以上
 - 2500~5000m²
 - 1000~2500m²
 - 500~1000m²
 - 500m² 未満
- 歴史的機能
- 千代田区内には歴史ある寺社や記念碑、関東大震災後に復興整備された震災復興小公園など歴史的資産が点在しています。これらは江戸～昭和を中心とした都市形成の中で継承された資産であり、今後も持続可能な都市を形成するインフラの1つとして次世代に継承していく必要があるものです。神社と隣接した公園や、関東大震災後の復興整備として整備された帝都復興小公園や、歴史的な記念碑、銅像などが建てられている公園が該当します。

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点



シンボル機能



- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

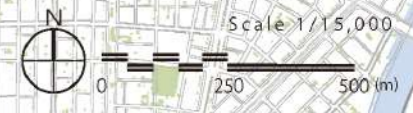
マーク凡例

- 5000m² 以上
- 2500~5000m²
- 1000~2500m²
- 500~1000m²
- 500m² 未満

シンボル機能

千代田区は首都東京の中心に位置し、日本または東京を代表する場所です。区内でも、さらに千代田区らしい区を代表するような公共性の高い公園（オープンスペース）を分類します。本公園では多様で多世代の方が利用するため、利用者の属性を限定しない多様性・多世代にも配慮した公園であると考えます。該当するものとしては、立地的に重要である場所に位置している公園や、日常的に多くの方に利用されている公園等が該当します。

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点



自然環境機能



- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

マーク凡例

- 5000m² 以上
- 2500~5000m²
- 1000~2500m²
- 500~1000m²
- 500m² 未満

自然環境機能

持続可能な社会の実現に向けては、温暖化を中心とした気候変動への対応や、都市での生活の質の向上が重要な課題となっています。千代田区は中心に皇居を有し、豊かなみどりが存在しています。これらのみどりを中心に、各公園が連携することで、風景や人、動物・生物が繋がり、豊かな暮らしを実現していくことが重要である。自然環境公園は、動植物が多く見られ、緑あふれる緑量豊かな公園が該当します。

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点

地域活用機能



- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

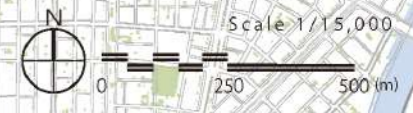
マーク凡例

- 5000m² 以上
- 2500~5000m²
- 1000~2500m²
- 500~1000m²
- 500m² 未満

○ 地域活用機能

千代田区には7つの地域が存在し、この地域を中心に、コミュニティが形成されています。公園を通じたお祭りや地域でのイベントなどによりコミュニティが醸成され、地域のまちづくりに寄与します。このような祭りやイベント等に利用されているなど、1年の中で活用している公園が該当します。

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点



先駆的機能



- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

マーク凡例

- 5000m² 以上
- 2500~5000m²
- 1000~2500m²
- 500~1000m²
- 500m² 未満

先駆的機能

これからのまちづくりにおいては、誰も取り残さない「包摂性」や全てのステークホルダーが役割を果たす「参画性」が重要となります。これまでの公園は限定的な利用が多い傾向でしたが、これからの公園は包摂性や参画性を生み出すような、これまでにない先駆的な機能（プレイパークやスケボーパーク、ドッグランやインクルーシブ遊具）などテーマ性が高く、これまでの区内の公園整備では実現してこなかった公園が該当します。

千代田区立公園 機能分類マップ 令和5年10月時点

遊び場機能



- 凡例
【緑被区分】
- 樹木被覆地
 - 草地
 - 屋上緑地(樹木)
 - 屋上緑地(草地)
 - 裸地
 - 水面

マーク凡例

- 5000m² 以上
- 2500~5000m²
- 1000~2500m²
- 500~1000m²
- 500m² 未満

- 遊び場機能

東京都においてチルドレンファーストの社会の実現に向けた政策が強化され、また千代田区ではベビーファースト宣言が発表され、子どもを産み、育てやすい環境づくりが進んでいます。加えて、千代田区では近年人口が増加の傾向にあり、少年人口についても2050年まで増加が継続すると予測されています。今後増える少年人口であり、これからの社会を担う子どもが、日常的に過ごす場所となる公園は、自分らしく生き生きとした活動が可能となる場所づくり、子育て世代が利用しやすい場所づくりが重要であると考えます。この遊び場公園は、公園内に遊具が多い、自由な遊びができるなど、子どもが遊ぶ機能が大きい公園が該当します。